

障がいを持つ人も持たない人も共に生きる

いきいき村から

2021春号

春まつりは今年も見送ります。「秋」は？

2年連続の苦渋の決断です。秋まつりを、という選択肢も検討しています。

しかし、残念ながら、お約束はできません。

いきいき牧場を取り巻くすべての皆さまの安全を祈るばかりです。

マリゴールドの花言葉は？ 嫉妬！ いえいえ、黄色の花には「健康」、オレンジは「予言」だそうです。のびやか丸の利用者さんが丹精込めて育てました。健康を守り、コロナ収束の予言を期待しましょう。



INDEX

- 法人からのお知らせ 2-3
- のびやか丸の就労支援 4
- 元気丸は花見を楽しむ 5
- 東日本大震災から10年 6
- 風のネットワーク 7
- 佐々木正孝さんインタビュー 8

ワクチン接種、柔軟な対応を



理事長 岩根多喜男

令和3年度が始まりました。コロナ禍の影響は、当初の希望的な収束時期の期待を次々

でさえ先の見通しが立ちがたいうようで、末端部分にいる私たちはなおのこと、2、3か月

に覆しながら、2020東京オリンピックまでも1年延期に追いやりましたが、今の時点においても実施できるのか覚束ない状況が続いています。ワクチン接種が開始されたとはいえ国や県

先の行事カレンダーを眺めながら、中止や延期を判断せざるを得ない、その一つひとつの代替案に思案しているところです。

ただ、幸いなことにいきいき牧場では職員が感染防止策を創意工夫して今まで職員、利用者ともに1人の感染者も出しておりません。本当に職員に感謝です。

過日、盛岡市においても「高齢者施設と児童福祉施設の全職員を対象に、感染拡大の兆候があると市が判断した場合

に定期的なPCR定期検査が行われる。予算は2億7000万円」との情報が流れました。高齢者・児童施設で働く職員の感染を早期に把握して利用者への感染拡大を防ぐ狙いがあることは思いますが、PCR検査の話題よりも最早ワクチン接種に関心が移っている今は釈然としない思いが募ります。

多いことから感染した場合の重症化のリスクはかなり高いだろうと思われれます。さらに障がい特性によりマスクを着用しての行動が苦手な人やコロナの話題に強い不安や拒否反応を示す人もおり、そのため各々の施設(支援事業所)の現場では職員が感染防止に努めながら、かなりの緊張を強いられる毎日を送っております。

そんな職員を応援するためにも、ぜひ行政にはPCR検査やワクチン接種の際には高齢者・児童施設の職員枠にとられない柔軟な対応を求めたいと思っております。

令和3年4月23日記

令和3年度辞令交付式

決意を新たに

の職員を含め、法人の基本理念のもと利用者の皆さんの支援にあたる決意を新たにしました。

元気丸「みつばち清水」

リニューアル

「みつばち清水」の愛称で親しまれる元気丸の手洗い場を修繕しました。

手洗い、うがい、歯磨きは、利用者の皆さんの生活に欠かせません。みつばち清水は連日、フル稼働です。しかし、昨年12月下旬、給湯管から漏水したため、流し台を含めてリニューアルしました。工事中は皆さんにご不便をおかけしましたが、ク



リーム色を基調にした優しい色合いが好評！元気丸の感染症対策の要(かなめ)です。



新規採用



のびやか丸 職業指導員 工藤 善則 (4月1日付)

新年度の社会福祉法人いきいき牧場辞令交付式が、4月1日、元気丸作業棟で行われました。岩根多喜男理事長から新規採用者や定期人事異動者に辞令が手渡され、立会人

のびやか丸サテライトショップ

「ふち丸」を一時休止

新年度事業を一部縮小

令和3年度当初予算

令和3年度事業計画と当初予算が3月9日、第3回評議員会で議決されました。

今年度は、のびやか丸のサテライトショップ「ふち丸」の一時休止など、事業を一部縮小せざるを得ない状況にあります。しかし、コロナ禍の情勢を鑑みながら利用者の方やご家族が安心して生活できるよう、サービスの充実に努めて参ります。

今年度は、のびやか丸のサテライトショップ「ふち丸」の一時休止など、事業を一部縮小せざるを得ない状況にあります。

2月28日の第3回理事会

マスクにフェイスシールド 神妙な理事たち



いきいき牧場令和3年度当初予算

勘定科目		予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	8,776,000	10,008,000	△ 1,232,000
		障害福祉サービス等事業収入	525,846,000	553,587,000	△ 27,741,000
		経常経費寄附金収入	2,200,000	5,710,000	△ 3,510,000
		受取利息配当金収入	18,000	18,000	0
		その他の収入	890,000	12,055,000	△ 11,165,000
	事業活動収入計(1)	537,730,000	581,378,000	△ 43,648,000	
	支出	人件費支出	386,704,000	395,457,000	△ 8,753,000
事業費支出		79,735,000	81,650,000	△ 1,915,000	
事務費支出		53,344,000	76,157,000	△ 22,813,000	
就労支援事業支出		8,776,000	10,008,000	△ 1,232,000	
その他の支出		300,000	300,000	0	
事業活動支出計(2)	528,859,000	563,572,000	△ 34,713,000		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	8,871,000	17,806,000	△ 8,935,000		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入		1,250,000	△ 1,250,000
		固定資産売却収入		220,000	△ 220,000
	施設整備等収入計(4)		1,470,000	△ 1,470,000	
	支出	固定資産取得支出	510,000	8,257,000	△ 7,747,000
		施設整備等支出計(5)	510,000	8,257,000	△ 7,747,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 510,000	△ 6,787,000	6,277,000		
その他の活動による収支	収入	その他の活動収入計(7)	0	0	0
		積立資産支出		20,300,000	△ 20,300,000
	支出	その他の活動による支出	5,150,000	5,320,000	△ 170,000
		その他の活動支出計(8)	5,150,000	25,620,000	△ 20,470,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 5,150,000	△ 25,620,000	20,470,000	
予備費支出(10)	3,211,000	5,699,000	△ 2,488,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	△ 20,300,000	20,300,000		
前期末支払資金残高(12)	220,372,984	220,372,984	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	220,372,984	200,072,984	20,300,000		

負けないよ! のびやか丸



通所施設の就労支援事業所のびやか丸は、利用者の皆さんの「働く」と「社会参加」の促進のため、コロナ禍で苦戦を強いられながらも利用者と一緒に地道な努力を重ねています。

現在のびやか丸は、就労継続支援事業B型に特化しています。

主な仕事は、チューリップの栽培やりんごジュースの製造・販売。野菜類(野菜栽培では、広報誌「いきいき村から」2019年師走号の表紙を飾った大根が、読者の皆さまの記憶に新しいのではないのでしょうか。レタス、長ネギ、トウモロコシ、ニンニクなども栽培しています。

また、盛岡市内の住民の方々やアパート、マンションから受託した除雪・排雪作業にも取り組んでいます。

利用者の皆さんが、こうして培ってきたスキルと、その取り組みを地域の方々に発信・紹介し、よりご理解・ご支援を

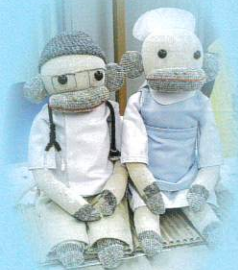
受託作業としては「農福連携」に力を入れています。リンゴの摘花、野菜苗の定植、草刈りを基本に、ご期待に応えられることも多いと思います。ご用命をお待ちしております。

例えば盛岡市の現株みるまえ佐々木園芸では、十年来、レタス栽培などのお手伝いをさせていただいております。

これからも利用者さんが「働くこと」と「社会参加をすること」をサポート、そして工賃(報酬)の確保に努めて参ります。

(三上 陽平)

「働くこと」と「社会参加」促進を目指して





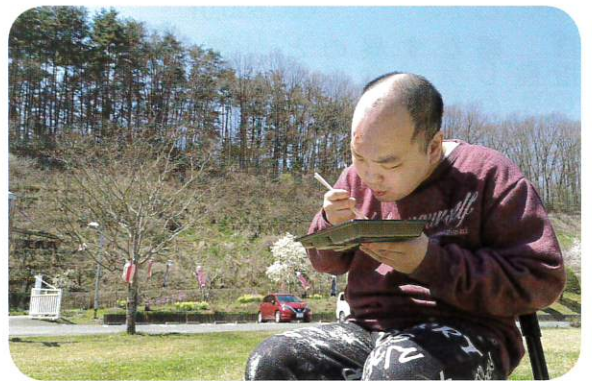
元気丸 コロナなんかに

楽しく遊んで、明るく、仲良く、元気よく



青空の下で お花見を楽しみました

4月21日、毎年春まつりでにぎわうポランの広場に元気丸の利用者さんが一堂に集って、お花見会食を楽しみました。晴天に恵まれ、心地よい風に鯉のぼりも大喜び。職員も会場設営やお弁当の手配など、一生懸命がんばりました。皆でボリューム満点のお弁当をほおばり、リンゴジュースで乾杯！！楽しいひと時を過ごすことができました。



東日本大震災から10年が過ぎて

フラッシュバック心配

非常食体験の昼食会、月に一度



2011年3月11日は、のびやか丸や元気丸がある盛岡市川目でも非常に大きな揺れを受けました。利用者の皆さんは驚きのあまり動きが止まり、直後の停電からあわただしく物資などの準備をした記憶があります。

また、3月末には沿岸地域へ職員を派遣し、沿岸地域の施設利用者の皆さんの



支援をお手伝いした経緯もあります。被災地の状況を実際に見て無力さを感じた記憶が大きいです。甚大な被害を受けた地域の皆様には改めて哀悼の意を表するとともに、今回は法人での自然災害に対する取り組みを紹介したいと思います。

いきいき牧場は、非常災害時における福祉避難所の役割もあります。昨年度は地域の方々が防災時にも安心して避難ができるよう、段ボールベッド、発電機などの資機材を準備しました。

また、のびやか丸と元気丸は、合同で避難訓練を行い、有事でも冷静に

避難誘導ができるよう、訓練のたびに職員も気を引き締めています。放課後等デイサービス施設「カラフル」は、自宅から通ったり宿泊したりする利用者の方々が、帰宅するまでの避難先ともなります。その際に使用する非常食や照明設備、ストローブなどを整備しました。

利用者さんにとっては、小さな揺れでも時にフラッシュバックを起こす方がいます。日頃の防災教育は必要ですが、精神的に負担がないよう配慮が必要です。利用者さんにとつての楽しみの一つに食事の場面を活かし、非常食体験昼食会を月に1回行っています。利用者の皆さんも穏やかな気持ちで防災について学び、感じる事ができています。

備えあれば憂いなし——を指しています。(山本 巴)

スタッフのつぶやき

☆利用者の皆さんが一日一日を楽しく、穏やかに暮らすことができるよう、本場に「ちよっと」のことも一生懸命頑張るスタッフの姿、「ふくし」の実践をこれからも紹介していきたいです。 元気丸・山本 円

☆コロナの猛威は留まるどころを知らず、人々はあらゆる判断選択を迫られますが、季節は変わらず巡り来るものと桜吹雪に思うこの頃です。

☆世の中では自粛の意識が高まっています。しかし、自分の鼻水は自粛してくれませんか。原因となる花粉に自粛をして欲しいと切に願っております。

☆利用者さんから笑顔で挨拶をされるにつけ、平穏な生活を早く取り戻したいと感じます。新型コロナウイルスの終息を心から祈る毎日です。

事務局長 下長根 正則

☆4月21日、青空の下、ポランの広場でお弁当を食べながらお花見することができました。利用者の皆さんの笑顔は最高！コロナなんかには負けてられない！

後援会事務局・米澤 弘子



アメリカから便り ——菅原研・弘子夫妻



コロナ禍で世界中が暗い生活を強いられている中、本日はいきいき村のリングゴリーのニュースと共に心づくしのマスクを嬉しく拝受致しました。お礼申し上げます。

馬場勝彦さん、秋山ちえ子先生、永六輔氏の三人の

メモリアルスクエア開設予定とのこと、大変すばらしい企画と心からお慶び致します。三人は本当にすばらしいお仕事をなさり、深く敬服しております。

今のところ何時お伺いできるか、毎日、日本の状況を見ておりますが、なかなか難しく思われ、気持ちだけが飛んでおります。ぜひお伺いして、少しばかりですが、ご寄付をさせていただけることを願っております。お目にかかれませう日を楽しみにしております。

2021.3.25(一部抜粋)

■牧場舎裏の芝生に可憐に咲くネジバナ発見。コロナに負けるな！のエールが聞こえました。おいしいジュースありがとうございました。

(1月 盛岡市 福田學)

■おいしい贈り物をありがとうございます。家の中に温かな風がふんわりと流れます。元氣もです。

(1月 富山県 中山雅子)

■おめでとうございます。おいしいジュースありがとうございます。お返ししました。本年もどうぞよろしくおねがいします。

(1月 神奈川県 片岡ふじ子)

■皆様の楽しそうなりんご摘みのお便りと共に届いたりんごジュース、ありがとうございます。早速、おいしくいただきました。寒気も厳しくなりました。皆様、お体を大切に良いお年をお迎えくださいませ。

(1月 静岡県 石川由紀子)

■年の瀬はいつもおいしいジュースをお届けいただきありがとうございます。

(1月 兵庫県 美木陽子)

■りんごジュース、ありがとうございます。長生きしているとろんなことに遭遇するものです。コロナとは!! でも笑いを忘れず生活していきましょう。新しい年が皆様にとつて素敵な1年になりますように。



敬称略

(1月 東京都 山田紀子)

■今年もみなさまのご丹精のジュースをありがとうございます。クリスマスのご祝杯として感謝と共に頂きます。皆様お元気で明るいよいお年を!

(12月 東京都 榎本祥子)

■盛岡に叔母がいるので行きたい気持ちでしたが、コロナでとてもかたやみませんでした。

(12月 埼玉県 千田良子)

■早くコロナ禍から解放される日を祈っております。

(12月 盛岡市 餘目忠吉)

■りんごジュースおいしいです。自然の中へと歩いていきます。

(12月 東京都 鈴木兌子)

■おいしいりんごジュースをありがとうございます。素敵なクリスマスプレゼント!! コロナに負けずがんばります!!

(12月 神奈川県 佐藤陽子)

■りんごジュースごちそうさま

■村民税、ありがとうございます

【岩手県】阿部ゆき子▷餘目忠吉▷(福)みちのく療育園・伊東宗行▷遠藤セツ子▷小田島百合子▷小田中郁夫▷川守田志行▷佐々木忠栄▷真田昌之助▷澤村憲照▷三機商事(株)・高原三雄▷玉川木材(株)玉川隆子▷千葉玲子▷樋ノ口文雄▷福田學▷(有)藤原アイスクリーム工場・藤原誠市▷藤原和夫▷瀨向クニ▷宮川康一▷森鍵郁子

【東京都】榎本祥子▷劇団文化座・佐々木愛▷鈴木兌子▷田中良江▷長坂美環子▷山田晴代▷吉野倫子

【神奈川県】佐藤陽子▷よこはまかわをを考える会・磯ちず子

【宮城県】加藤秀行

【愛媛県】南宇和郡精神障害者の社会参加を進める会

【埼玉県】丹羽友子▷千田良子

【福岡県】桑原洋子▷小森田啓子▷宮地誠子

【千葉県】田辺聖子

【栃木県】鈴木恵子

【富山県】中山雅子

敬称略、令和2年10月1日~3年3月31日



今年度収入見込み380万円

後援会「いきいき村」令和2年度の収入決算額は760万1,048円、うち会費(村民税)収入は215万5,000円でした。この中から法人への助成として500万円を支出しております(別稿参照)。

今年度予算(案)の収入見込み総額は、繰越金178万9,735円を含めて380万円です。

後援会から500万円寄付

3月9日、風の館で開催された令和2年度第3回評議員会の席上、後援会「いきいき村」の熊谷峰男代表幹事(写真左)からいきいき牧場の岩根多喜男理事(長)に500万円の寄付金(目録)が贈呈されました。

「いきいき村から」2020春号でお知らせしていた法人への助成金です。風の館2階に開設準備中の馬場勝彦さん、秋山ちえ子さん、永六輔さんの顕彰エリア整備などに充てられます。

■でした。コロナ禍の中、皆様のご無事をお祈り申し上げます。よいお年をお迎えください。

(12月 栃木県 鈴木恵子)

■コロナ禍のせいで、お盆の帰省が出来ませんでした。岩手が遠くになった心細さを引きずっています。2月には「いきいき村」で育った、きれいで可愛いチューリップが、故郷の様子を告げに来てくださいように。

(11月 東京都 吉野倫子)



元気丸のホームドクター 佐々木正孝 医師



1956年 宮城県生まれ。岩手医大卒業後、同病院第一内科や英国グラスゴー大学で勤務、診療・研究を重ね、現在は盛岡市中野の「ささき医院」院長。平成16年から元気丸の嘱託医を経て、長年、元気丸利用者の健康管理を一手に引き受けてくださっている。岩手医大内丸メディカルセンターでの外来診療も担当している。専門は、消化器、糖尿病、代謝疾患など。

そばに長くいる安心感を

「普通に接することが大事」

「元気丸さ〜ん、診察室にどうぞ」。穏やかな佐々木先生の声に、病院嫌いの私も緊張が和らぐ。盛岡市中野のささき医院。元気丸利用者さんの3月の健康診断結果をチェックしてもらった後、インタビューをお願いした。(山本 巴)

「一通り目を通して、コメントも書いておきました」
佐々木先生は、利用者一人一人の名前と顔を覚えて

いてくださる。安心して何でも相談できるホームドクターだ。
「元気丸に関わるようになって、いわゆる障がい者への認識は変わりました。みなさん、個

性があつて、一般の人よりもすごく魅力的なところがあつて……。接していて意外な発見をすることも多いですね」
「僕のところに来てくれる〇〇君、総合病院では数人がか

りで抑えないといけないらしいけど、この診察室に来ると本当に素直。お母さん不思議に思っている。現場で実際に支援している元気丸の職員の方が付き添いしてくれていることで安心感もあるんじゃないかな。普通に接することが大事なんだろうね」。

「ほら、前に(元気丸の職員に対して)△△さんが話したっていうじゃない。何もしなくいい。長くここ(元気丸)さ、いろ〜って」

佐々木先生は我々元気丸の職員が時に忘れてしまっている利用者さんとのやり取りもしっかりと覚えている。

「僕はね、医者と患者というよりは、気の置けない間柄を

目指して接しているんです。元気丸の職員の皆さんも、大変かと思うけど、利用者の皆さんにとつて信頼できる人が、そばに長くいてくれるということが、重

要なんだと思うよ」
今の仕事を続けること、ずっとそばにいてくれること、願っています——我々職員へのエールも頂いた。

編集長のつぶやき



風の館2階に開設を計画している馬場勝彦さん・秋山ちえ子さん・永六輔さん顕彰エリアの編集長を務めさせていだいてる。馬場さんが立ち上げた「盛岡世代にかけける橋」のOG、OB数人がボランティアで資料の点検・整理を進めてきた。コロナ禍で若干足踏みしたが、遠からず年表や写真などのパネル展示にこぎつけられそうだ。

「福祉は文化、文化は福祉」が口癖だった馬場さん。秋山さんや永さんの協力を得て、盛岡で様々ないきいき牧場チャリティー文化イベントを重ねた。秋山さんは、風の館を「村民交流センター」と呼んで資金集めに奔走した。

その館に開設される3人の顕彰エリアは、いきいき牧場にとつて「記憶の広場」だ。しかし、決して顕彰展示の場ではない。3人が思いを馳せた「まことの幸せ」を皆が考える場となることを祈っている。秋山さんが遺してくれた「非戦文庫」の読書会から始めましょうか。(田中 信明)